

## 令和 5 年度芽室高校との意見交換会総括（案）

## 1 事業の根拠

- (1) 芽室町自治基本条例第 3 条第 6 号（議会と議員活動の原則）
- (2) 芽室町議会基本条例第 2 条第 4 項（基本理念）
- (3) 芽室町議会基本条例第 8 条第 1 項（町民参加及び町民との連携）

## 2 事業目的

生徒との意見交換を通じて「地方自治の担い手意識の醸成」、「議会活動の認知度向上」、「まちづくりに関心を持ち参加する機会」とする。

## 3 実施実績

令和 5 年 1 2 月 1 9 日（火） 1 5 : 4 5 ~ 1 6 : 4 5

## 4 場所 芽室高校（会議室）

## 5 テーマ「議会だより・SNS 等、魅力ある議会広報について」

## 6 参加者

高校 生徒会、新聞局員 7 名

議会 8 名

- ・総務経済常任委員会 3 名
- ・厚生文教常任委員会 3 名
- ・議会運営委員会 2 名

## 7 総括

## (1) 成果 目的は概ね達成

テーマである「議会だより・SNS 等、魅力ある議会広報について」、4 グループに分かれ、グループワークを通じて、「テーマに対する現状認識」、「ありたい姿実現のために取組まなければならないこと」について意見交換を行い、高校生からはさまざまな具体的提案をいただいた。

議会側の目的については、グループワークを通じて「議会活動の認知度向上」、「まちづくりに関心を持ち参加する機会」につながったものとする。

## (2) 課題 実施時期、テーマ設定等、次年度向けには検討が必要。事業の継続については、今後も学校側との協議を行い、事業について双方検討する。

(3) 今後の取組み

令和5年度議会活性化策「5 多様な議員のなり手実現に向けての検証」の中で、「高校生との連携事業等についての目的の明確化と事業内容の協議、検討」を掲げて事業実施を行ったため、今後の目的の明確化と事業内容の協議については、一定整理できている（毎年度のテーマ設定等については、学校側との協議が必要）。

生徒からいただいた意見の取扱いについては、「4 広報広聴の機能拡充と手法の改善」において、次年度の取組みに向けての参考意見とし取り扱っていく。

## 議員の振り返り

### 1. 当日の運営について（方法、内容、進行など）

- ・グループワーク、人数分け、進行など特に問題は無かったと思います。
- ・グループ分け、内容説明、進行もスムーズにできた
- ・学生が意見を出すにあたって、学生から“議会だより“を発行している目的を聞かれる場面がありました。目的がわからないと適切な意見が出せないからとのことでご尤もと思いました。こういった前提情報を参加者に共通認識として事前に共有できるとより深い意見が出るのではと思います。
- ・良かったと思います。
- ・1時間という限られた時間でしたが、生徒の皆さんも8名で色々な意見を聞けました。もしも可能であれば、開催時期を早めることは可能なのかなと・・・・・・・・。
- ・短時間ながらもテーマを絞った話し合いができよかった
- ・高校生と一対一だったので高校生は話づらそうだった。グループの人数を多くしたほうが生徒の負担はないと思う。新聞局だからといっても議会だよりに関心があるわけではないことを前提に進めた方が良い。進行はスムーズだった。
- ・学校側からの要望もあって15時45分からの開始となったが、運営については概ねスムーズだったと感じる。もう少し生徒に対しても「なぜ今回このテーマにしたのか」、「芽室町議会はこう取組んでいる」という部分についての説明が必要だったかもしれないが、時間の制約もあり、意見交換に多くの時間を使ったが、目的達成のためにはもう少し事前の打ち合わせや当日の内容について協議が必要かもしれない。

## 2. 事業評価について（目的の達成度）

8件の回答



## 3. 全体を通して何かありましたらご自由に記載願います

- ・若い世代の声を聞く。と言う目的は毎年実施すべきと考える。芽室高校や白樺高校との繋がりが途絶えることがないよう事業を継続する必要があると思います。
- ・学校新聞編集者としての字体など、読者側からの見え方を意識した編集に学びがあった。
- ・意義を十分に理解できていない議員の派遣は当日の進行にも影響を及ぼすので、意義を十分に理解し積極的に目的を達成するという意識のある議員の派遣が必要。
- ・鋭い意見、的確な意見が出てきてとても良かったと思います。
- ・技術的な面や、若者としての意見は参考になりました。ただ、やはり議会広報は伝えたいことと、受け取る側の関心事が噛み合わないと、なかなか見てもらえない、伝わらないと感じました。
- ・高校の新聞局は取材が大切な活動で、新聞を通して高校生としての自治を表現している。グループの新聞局の生徒に質問されました。議会だよりを発行していて、何が課題なのか。なんのために議会だよりを発行しているのかと。ありきたりのことしか答えられませんでした。町民に議会活動を伝え報告する。でも、「このように考えてます」という議会だよりも必要なのかも知れません。
- ・これまで続けてきた実績があることで今年度も快くお受けしてもらえた。叶うことなら時間をかけひとつのテーマについて継続した話し合いが持てるとよいと思う。
- ・毎年行っている事業であるが、事業の意義が見出せない。議会だよりについての意見をもらうのも3回目であり、もう十分である。意見交換する内容を考えることも負担であるということは「議会としてなにを得たいのか」が明確になっていないから。事業の廃止も含めて検討する必要がある。